

令和6年度 近代美術館 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課題	目標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	公務外非行はゼロ	所内会議、ミーティング等を通じて法令遵守意識を共有するとともに、綱紀保持の通知や啓発資料の掲示等があるたびに注意喚起を図った。 【達成】
セクハラ・わいせつ、パワハラ行為の防止	セクハラ・わいせつ行為、パワハラ事例はゼロ	所内会議、ミーティング等の機会に啓発資料を用いて、意識向上に努めた。【達成】
美術作品・資料等の適正管理・保管の徹底	美術作品・資料の紛失及び損傷ゼロ	各職員がルールを遵守し、定期的な点検作業に加えて、複数の職員による管理・保管に関する手続きの確認を徹底した。【達成】
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の流出、ウイルス感染はゼロ	情報セキュリティ研修（新任者・上半期・下半期）を実施し、適切な管理について注意喚起するとともに、記録媒体の定期的な点検を実施した。【達成】
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故及び酒酔い・酒気帯び運転はゼロ	府内メール、所内会議において啓発資料を配布し、自己点検を実施することで徹底を図った。【達成】
適正な業務執行体制の確立	適正な業務執行体制の充実	業務分担の明確化と主任・副主任制を意識したチームでの業務対応について、会議及び日常のミーティング等を活用して徹底を図った。【達成】
危機管理体制の確立	実効性のある危機管理体制の維持	PFI事業者との定例会議等の場において、自然災害を含む緊急対応の体制を共有するとともに、避難訓練を実施し、指揮系統等を再確認した。【達成】
財務事務等の適正な執行	不適正な会計処理ゼロ、決算関係資料（実績値等）の誤りゼロ	財務事務において相互チェック、業務協力体制等の徹底を図り、定期監査においても、会計事務の不備について指摘はなかった。【達成】

○ 令和6年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和7年度に取り組むべき課題 (所属長意見)

所属職員の半数以上が会計年度任用職員であり、入れ替わりによる新任者に対しては、職員行動指針の周知、服務規律の徹底、情報セキュリティ等について丁寧に指導した。

過去に発生した美術品の紛失事案への反省があり、不祥事ゼロプログラムに掲げた項目について、概ね緊張感をもって取り組むことができた。

引き続き、事故の教訓を風化させることなく、全ての職員が高い規範意識を保持しながら業務

に向き合うことが重要であり、令和7年度のゼロプログラムの実施においては、より効果的な研修や時機をとらえた注意喚起を行い、各項目の目標達成を目指す。